

令和7年度 予算

令和7年度当初予算が3月定例議会で可決されました。

一般会計の予算総額は31億3,700万円で、前年度に対して1億8,800万円、5.7%の減額となりました。特別会計及び水道事業会計については下記のとおりです。

「神崎町第5次総合計画・前期基本計画」の着実な推進を図るため、限られた財源の中でも優先度、重要性を十分検討し、適正な予算規模となるよう予算を配分しました。

ここでは、新年度の予算と主要事業についてお知らせします。

歳入

主な歳入は、町税が7億3,387万円、地方交付税は10億3,500万円で、歳入総額の約5割を占めています。

国県支出金は3億9,800万円で、前年度に比べ35.4%の減となりました。これは、社会資本整備総合交付金の減によるものです。

繰入金は、財源対策として財政調整基金を2億9,503万円、施設改修費に充てるため、公共施設整備基金1,715万円を計上しました。

町債は11.7%減の1億6,310万円で、多目的ホール照明改修事業債等を借入れます。

歳出

新年度の主要事業は、「まちの活性化」として、「町道毛成堀籠線道路改良事業」や「町道成田神崎線道路新設事業」などの建設事業を継続していくほか、「70周年記念式典」や「発酵によるまちづくりシンポジウム」など、町村合併70周年関連行事にかかる費用を合計2,366万円計上しました。

「子育て支援」としては、「子ども医療費助成事業」の対象者を大学生までに拡充して予算を計上しました。発酵×オーガニックヴィレッジ宣言による、学校給食での特別栽培米の提供を継続。学校給食費の全額助成や保育料無償化、子育て支援費給付金事業など、神崎町独自の子育て支援をこれからも展開していきます。

また、「安心安全なまちづくり」の一環として、家庭用防犯カメラ設置補助金を新たに計上。町内河川へのデジタル水位センサー設置や防災行政無線の改修など、「安心して住み続けたいと思える町」を実現するための予算を計上しました。

令和7年度の主な事業

単位：万円

総務費

●合併70周年記念式典事業	326
●発酵によるまちづくりシンポジウム	102
●家庭用防犯カメラ設置補助事業	200
●ふれあいプラザ改修事業	8,290

民生費

・敬老祝品贈呈事業	275
・子育て支援拠点事業（どんぐりの森）	225

衛生費

・子ども医療費助成事業（拡充）	2,148
・一般廃棄物収集委託料（拡充）	206

農林水産事業費

・担い手育成支援事業（スマート農業等）	300
・オーガニック推進事業	148

商工費

・発酵文化推進事業	285
-----------	-----

土木費

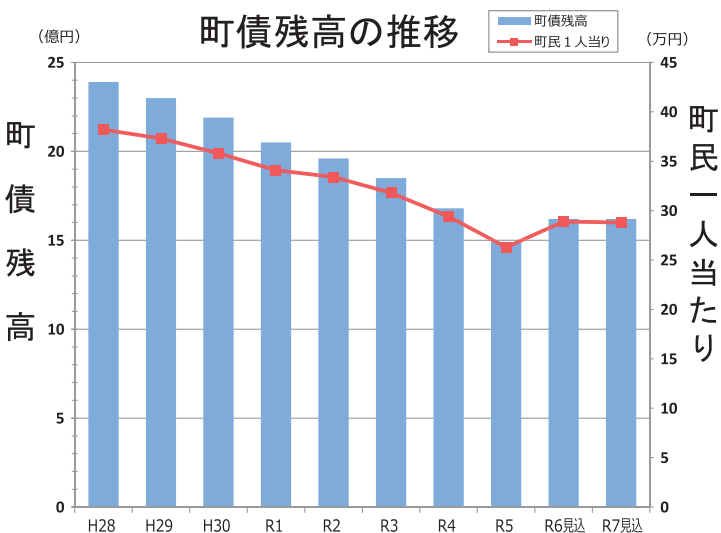
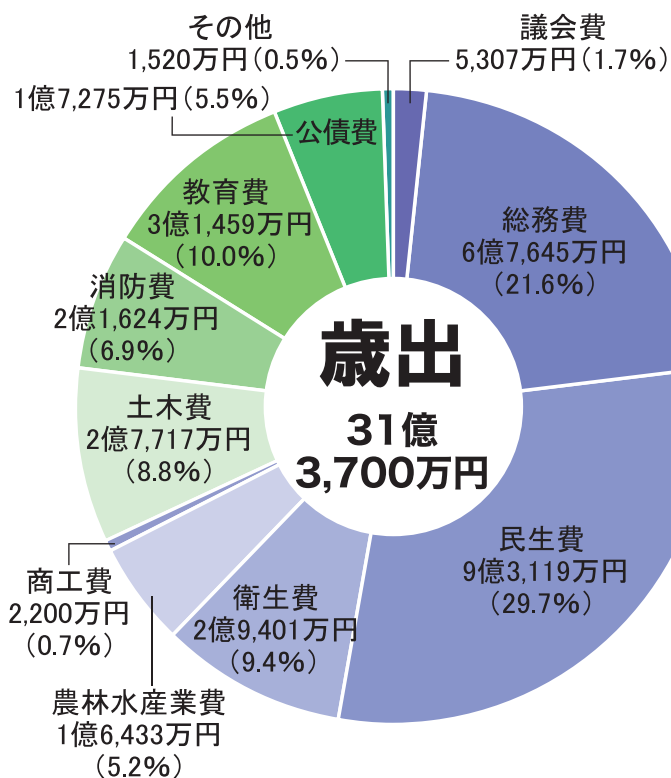
・町道毛成堀籠線道路改良事業	1億652
・町道成田神崎線道路新設事業	4,400
・町道新宿松崎線道路改良事業	415
●デジタル水位センサー設置事業	421
・準用河川神崎川(右岸)護岸整備事業	4,310

消防費

●防災行政無線(固定系)親卓改修事業	
--------------------	--

教育費

●神崎中学校校舎空調機修繕事業	
●合併70周年記念事業(お祭りフェスタ)	480
●は新規事業	

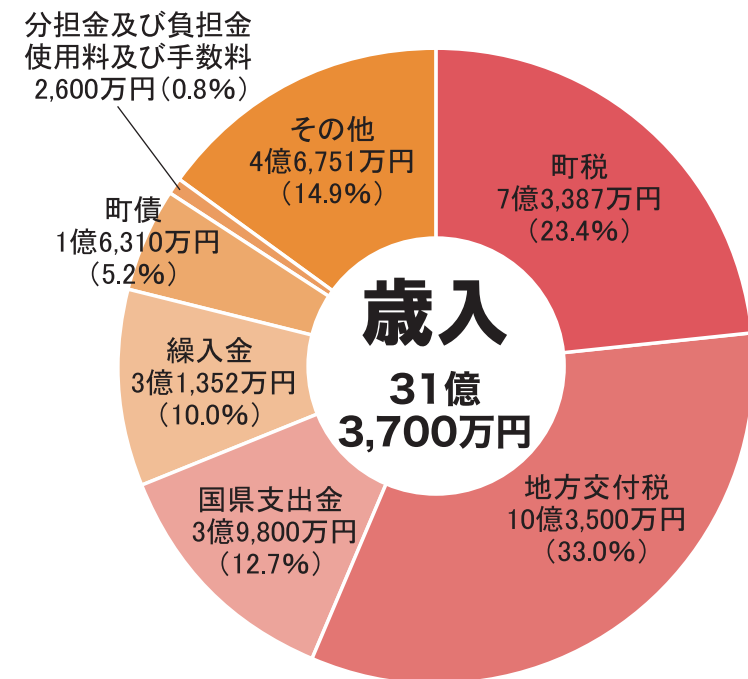


一般会計予算

31億3,700万円

『まちの活性化』と『子育て支援』に重点配分

町村合併70周年、活気あふれる神崎町へ！



特別会計 ()は前年度比	国民健康保険	7億3,500万円	(+1.7%)
	後期高齢者医療	1億760万円	(+5.3%)
	介護保険	7億1,300万円	(+2.0%)
	合計	15億5,560万円	(+2.1%)
水道事業会計 ()は前年度比	収益的	収入	2億2,378万8千円 (+0.5%)
		支出	2億1,316万1千円 (▲1.9%)
	資本的	収入	3千円 (▲99.8%)
		支出	5,755万7千円 (▲8.3%)